

# 乱用される代表的薬物

## 1 大麻 (Cannabis/Marijuana/Hemp)

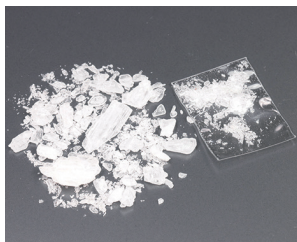
俗称の事例 マリファナ、ハッパ、チョコ、クサ、ヤサイ、ハシッシュ、ガンジャ、グラス、ブダスティック など



「大麻草」から作られるもので、煙草のように細かく刻んだものや、樹脂、リキッド、ワックスなど形状は様々です。最近では、クッキーなどの食品に大麻成分が含まれていることもあります。精神依存性があり、健康被害を生じる危険性があります。

## 2 覚醒剤 (Stimulants)

俗称の事例 エス、スピード、アイス、クリスタル、ハーツ、ホワイト など



アンフェタミン、メタンフェタミンの2種類の薬物を指します。結晶型、錠剤型、カプセル型、液剤型など様々な形状があり、広く乱用されています。強い依存性があり、精神や身体をボロボロにしてしまいます。大量に摂取すると死に至る場合もあります。

## 3 MDMA 等の合成麻薬

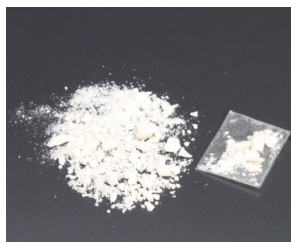
俗称の事例 MDMA: エクスタシー、バツ など  
MDA: ラブドラッグ など



化学的に合成された麻薬で様々な色や形をしたものが出回っています。強い精神依存性があり、視覚・聴覚を変化させ、様々な障害を引き起こします。世界中で乱用が大幅に増加している薬物です。

## 4 コカイン (Cocaine/ 麻薬)

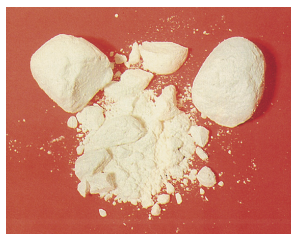
俗称の事例 コーク、コーラ、スノウ、ノーズキャンディ、チャーリー、クラック、ホワイト など



無色ないし白色の粉又は結晶粉末（化学調味料のような感じ）で、強い依存性がある薬物です。中毒により死亡する例もあります。また、コカインに重曹と少量の水を加えて加熱処理したものは「クラック」と呼ばれています。

## 5 ヘロイン (Heroin/ 麻薬)

俗称の事例 スマック、ジャンク、ホース、ダスト など



「あへん」から作られた薬物で、化学名では「ジアセチルモルヒネ」と呼ばれています。精神依存、身体依存（禁断症状）が生じやすく、しかもその依存性が極めて強い薬物です。

## 6 LSD (麻薬)

俗称の事例 アシッド、ペーパー、タブレット、ドラゴン など



強い幻覚作用があり、精神に障害を起こします。ごく微量で作用を示すため、紙や角砂糖などに染み込ませて使用されます。

## 7 その他の薬物

### ケタミン (Ketamine/ 麻薬)

医薬品としても使用されていますが、「スペシャルK」や「カット」とも呼ばれており、鼻から吸うと幻覚症状が得られることから外国では若者らに乱用されています。

### 危険ドラッグ

「ハーブ」、「お香」、「アロマオイル」、「バスソルト」など、「合法」と称し、用途や目的を偽って販売され、あたかも身体影響がなく、安全であるかのように誤解されていますが、死亡例もあり、大変危険で違法なドラッグです。



### 向精神薬などの医薬品

医療で使われる医薬品のうち向精神薬（鎮静剤や睡眠薬）は、不正に使用されたり、犯罪に利用されることがあります。そのため、国によっては厳しく規制しています。

また、渡航先の国の薬局等で市販されている医薬品の中には、日本で使用が禁止されている成分を含むものがありますので、注意してください。

商品名：ヴィックス・インヘラー（鼻の薬）でL-デソキシエフェドリンが含まれているものは、日本では、覚醒剤取締法で規制されています。国内には持ち込まないでください。



### シンナー、トルエン等

シンナー、トルエン等の有機溶剤やブタンガス（ライター等のガス）の吸入も社会問題になっています。

以下のホームページにも薬物の情報について掲載しています。



公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター

<http://www.dapc.or.jp/>

東京都福祉保健局健康安全部薬務課

[https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kenkou/kenkou\\_anzen/stop/index.html](https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kenkou/kenkou_anzen/stop/index.html)

